

# シルバーウッド

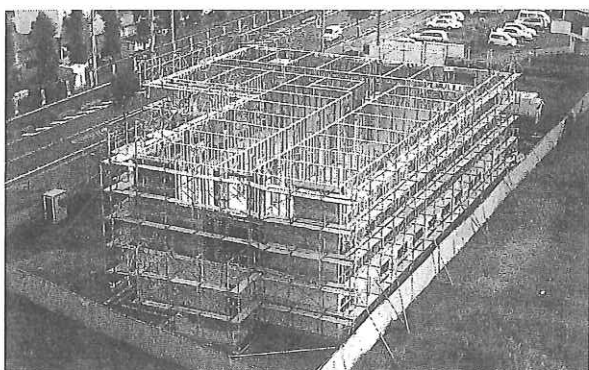
## スチールパネル工法 高専賃向け拡販注力

薄板軽量形鋼造の設計・躯体販売を手掛けるシルバーウッド（本社：千葉県浦安市鉄鋼通り、下河原忠道社長）は土地オーナー向けの提案営業を強化する。営業社員を増員し、高齢者専用賃貸住宅（高専賃）向けの拡販に力を入れ、20棟の成約をめざす。

少子高齢化や核家族化が急速に進む中、特別養護老人ホームへの入居希望者は毎年増加している。厚生労働省によると、入所待機者数は全国で約42万人にも上る。その受け皿として、高齢者を対象に食事や介護、家事など



企画・設計した「メディカルホームふじみ野」



設計・販売を手掛ける「構造躯体」

### 地主に提案 営業強化

のサービスを提供する高専賃の需要が高まっている。国土交通省は高齢者の居住の安定に

### 20棟成約めざす

向け、一定の要件のもと、建設費や入居者負担額の補助制度を設けるなど、民間活力を生

かす施策を打ち出し、おき、今後も伸長が期待される。拡販に向けた最大の

強みは、同社が5年以上の年月をかけて独自に開発し、特許を取得した「スチールパネル工法」。薄板をフォーム工法加工した軽量形鋼を組み合わせた建築工法で、外壁、床、屋根などの主要構造材としてパネル化し、箱型に一体化することで強固な構造を確立する。耐震性や耐久性に優れ、工期の短縮、大規模な杭工事が不要といったメリットがある。

また、使用する鋼材は親会社である有力コイルセンターの京江シヤーリング（本社：千葉県浦安市鉄鋼通り、下河原英道社長）を通じて仕入れることで仕入れ原価の低減につながっており、建築時の初期費用を最大限に抑制できる。

同社の09年度の鋼材使用量は年間1000トン（約10棟相当分）。仕入れ先はJFEスチール、JFE商事、京江シヤーリングで、売上高の90%を高専賃が占める。

2010年1月期決算は売上高5億円、純利益4000万円。今期は国交省の補助金助成など、政府支援策の後押し効果で販売増を見込み、前期比倍増となる純利益8000万円をめざす。

下河原社長は「日本を支えてきた先輩たちがまともに介護を受けられず、一人で寂しく暮らす現状はつらい。何とかするのがわれわれ後輩の役目。初期投資額の少ないスチールパネル工法を広めることで、公的年金の範囲内で生活できる高専賃を普及させたい」としている。

鋼板

直上ガマン秀こ下秀月惑

価格を全品種で8カ月ぶりに据え置いており、上昇ムードがやや

初期費用を最大限に抑制できる。

同社の09年度の鋼材使用量は年間1000